

考えられる選択肢(イメージ)

資料1

- 今後、各小学校において、中学年及び高学年でそれぞれ年間35単位時間増となる授業時数を確保しながら時間割を編成していくに当たり、取り得る選択肢としては以下のような例が考えられる。
- 各学校においては、児童や学校、地域の実態を踏まえながら児童の学びの質の向上や教職員の活躍につながる年間計画や時間割編成の最適な在り方を検討することが求められる。
- 時間割の検討は、①カリキュラム・マネジメントの中で、児童の学びの質の向上に貢献する時間割編成、②児童や学校、地域の実態を踏まえ、弾力性と恒常性のバランスのとれた時間割編成、という双方の観点を踏まえて行うことが求められる。

考えられる選択肢		考え方	実施の前提として必要となる条件整備等	各学校の時間割編成を支える取組
【案1】 年間授業日数を増 加させて時間割を編 成	○年間の授業日数を増加することによって、年間35単位時間分を確保。 具体的には、例えば1日6コマを6日間実施すること、又は一日4コマを9日間実施することなどに よって対応できる。これらの日数を、長期休業期 間の調整や土曜日の授業実施等によって確保す ることが考えられる。	児童の毎日や毎週の生活や学習のリズムを変えることな く、45分を標準としたこれまでも同じ時間配分を維持するこ とができる。ただし、休業日における児童の多様な学習機会 はその分制約を受けられることとなる。また、授業週数が増える 場合には、週の教科等の時間割はこれまでより変則的にな ることもある。	・長期休業期間の調整や土曜日の授業実施に、地域や家庭の理 解を得られること。 ・長期休業期間における児童の多様な学びの機会が確保できる こと。 ・休業日の調整などを、教育委員会が主導して行う体制があるこ と(地域によっては、中学校の休業日の調整など必要となる)。	・学校管理規則の見直し(参考3) ・年間行事計画の在り方の検討(参 考1) ・関連の行事(スポーツ、社会教育 団体等)との調整 ・空調などの設備や給食の確保 ・教員の代休など勤務管理の調整 ・教育センターの研修日程の見直し など
	【案2】 週当たりの授業時数 を増加させて時間割を 編成	【案2-1】 ○週の時間割の中に、短時間や長時間等の授業 を複数位置づけることにより、年間35単位時間分 を確保。 具体的には、例えば一回15分の短時間の授業を 週3回位置付けることや、45分授業のコマと組み 合わせ60分の長時間の授業を週3回位置付け ること、短時間や長時間、30分の授業などを柔軟 に組み合わせ週あたり45分を確保していくこと などが考えられる。 【案2-2】 ○週の時間割に、45分授業のコマを週一つ増や して、年間35単位時間分を確保。	学習規律が確立されており、弾力的な時間割の設定に対応でき る児童の集中力、持続力等があること。 ・すでに朝学習や屋学習が行われている帯時間の活用につい て、学校全体の取り組みの管理が整っていること。 ・学校全体での授業時数の管理が整っていること。 ・短時間や長時間等の授業に対応した授業準備や教材開発、指 導体制の確保等が可能であること。 ・児童の補習や主体的な学習活動、校内会議や研修等に充てら れている時間を維持できなくなるため、これらの活動の調整が可 能であること。 ・毎日6コマの授業に対応できる児童の集中力、持続力等に問題 がないこと。 ・在校時間の延長について、放課後の地域活動などとの調整が 可能であること。	・各学校の年間計画や時間割編成 を支える取組。(参考2-1、2-2) ・15分のコマ(15分、60(45+15)分)を 活用した指導計画の在り方の検討 ・教務支援、校務支援に関するシ ステムの整備 など
【案3】 年間授業日数の増 と週当たり授業時数の 増を組み合わせて時 間割を編成	○年間の授業日数の見直しと、週当たり授業時 数の増を組み合わせて、年間35単位時間分を確 保。 具体的には、例えば、一回15分の短時間の授業 又は60分の長時間の授業を週2回設定して23 単位時間分を確保し、加えて、年間授業日数の増 により12単位時間分(一日6コマであれば2日、4 コマであれば3日)確保することなどが考えられ る。このほか、短時間の授業を週1回実施してそ の他は年間授業日数の増により対応するなど、児 童や学校、地域の実態に応じた組合せが考えら れる。	児童の毎日や毎週の生活や学習のリズムを変えることな く、45分を標準としたこれまでも同じ時間配分を維持するこ とができる。 休業日における児童の多様な学習機会を維持することな し、これまで児童の補習や主体的な学習活動、校内会議や 研修等に充てられているコマは維持できなくなる。 児童の日々の生活や学習のリズムの維持と、学習内容や 児童の事柄等に応じた授業時間の設定を柔軟に組み合わ せ、時間割の弾力性と恒常性のバランスを図りながら実施 することができ。 授業日数の調整や、短時間や長時間の授業設定に必要と なる様々な条件整備についての検討が、他案と比べれば比 較的行いやすい。	①及び②-1と同様であるが、調整にかかる日数や弾力的な授 業時間を設定する授業の数が少ないため、比較的検討が行い やすい。ただし、時数の管理体制はよりしっかりと確立していく必要 がある。	・案1、案2に同じ(参考2-3)

増減させる日数)→長期休業5日間:28コマ(週時程分)
土曜授業(8コマ(4コマ×2日)) 本事例の場合:年間授業日数 199日⇒206日

△△市立C小学校

43

【案2-1の場合の例 ①朝の時間を活用】

(参考2-1-①)

	月	火	水	木	金
	登 校				
	朝の会・健康観察	朝の会・健康観察	朝の会・健康観察	朝の会・健康観察	朝の会・健康観察
		朝読書など		朝読書など	
1限	【朝】 短時間又は60分 ①	⑦	【朝】 短時間又は60分 ⑬	⑮	【朝】 短時間又は60分 ⑳
	行間休み				
2限	②	⑧	⑭	⑰	㉑
	中間休み	中間休み	中間休み	中間休み	中間休み
3限	③	⑨	⑮	㉒	㉔
	行間休み				
4限	④	⑩	⑯	㉓	㉕
	給 食				
	昼休み		ロング昼休み	昼休み	
	そうじ	そうじ		そうじ	そうじ
5限	⑤	⑪	⑰	㉔	㉖
			帰りの会		帰りの会
6限	⑥	⑫	校内研修	㉕	委員会活動 ／クラブ活動
	帰りの会	帰りの会		帰りの会	
下校	会議・打合せ等				

【案2-1の場合の例 ②昼休み後の時間を活用】

(参考2-1-②)

	月	火	水	木	金
	登 校				
	朝の会・健康観察	朝の会・健康観察	朝の会・健康観察	朝の会・健康観察	朝の会・健康観察
	朝読書など	朝読書など	朝読書など	朝読書など	朝読書など
1限	①	⑦	⑬	⑱	㉔
	行間休み				
2限	②	⑧	⑭	⑲	㉕
	中間休み	中間休み	中間休み	中間休み	中間休み
3限	③	⑨	⑮	⑳	㉖
	行間休み				
4限	④	⑩	⑯	㉑	㉗
	【昼休み】短時間又は60分		【昼休み】短時間又は60分		【昼休み】短時間又は60分
	昼休み	昼休み	ロング昼休み	昼休み	ロング昼休み
	そうじ	そうじ	そうじ	そうじ	そうじ
5限	⑤	⑪	⑰	㉒	㉘
			帰りの会		帰りの会
6限	⑥	⑫	校内研修	㉓	委員会活動 ／クラブ活動
	帰りの会	帰りの会		帰りの会	
下校	会議・打合せ等				

【案2-1の場合の例 ③夕方の時間を活用】

(参考2-1-③)

	月	火	水	木	金
	登 校				
	朝の会・健康観察	朝の会・健康観察	朝の会・健康観察	朝の会・健康観察	朝の会・健康観察
	朝読書など	朝読書など	朝読書など	朝読書など	朝読書など
1眼	①	⑦	⑬	⑱	㉔
	行間休み				
2眼	②	⑧	⑭	⑲	㉕
	中間休み	中間休み	中間休み	中間休み	中間休み
3眼	③	⑨	⑮	⑳	㉖
	行間休み				
4眼	④	⑩	⑯	㉑	㉗
	給 食				
	昼休み		ロング昼休み	昼休み	
	そうじ	そうじ		そうじ	そうじ
5眼	⑤	⑪	⑰	㉒	㉘
	【最後】短時間又は60分		【最後】短時間又は60分		【最後】短時間又は60分
6眼	⑥	⑫	校内研修	⑳	委員会活動 ／クラブ活動
	帰りの会			帰りの会	
下校	会議・打合せ等				

【案2-2の場合の例 1コマ増】

(参考2-2)

	月	火	水	木	金
	登 校				
	朝の会・健康観察	朝の会・健康観察	朝の会・健康観察	朝の会・健康観察	朝の会・健康観察
	朝読書など	朝読書など	朝読書など	朝読書など	朝読書など
1限	①	⑦	⑬	⑱	㉔
	行間休み				
2限	②	⑧	⑭	⑲	㉕
	中間休み	中間休み	中間休み	中間休み	中間休み
3限	③	⑨	⑮	⑳	㉖
	行間休み				
4限	④	⑩	⑯	㉑	㉗
	給 食				
	昼休み		ロング昼休み	昼休み	
	そうじ	そうじ		そうじ	そうじ
5限	⑤	⑪	⑰	㉒	㉘
			1コマ増		帰りの会
6限	⑥	⑫	㉙	㉓	委員会活動 ／クラブ活動
	帰りの会	帰りの会	帰りの会	帰りの会	帰りの会
下校	会議・打合せ等				

【案3の場合の例 週2日15分を活用＋日数増45分×12コマ】

(参考2-3)

	月	火	水	木	金
	登 校				
	朝の会・健康観察	朝の会・健康観察	朝の会・健康観察	朝の会・健康観察	朝の会・健康観察
	朝読書など		朝読書など		朝読書など
1限	【朝】 短時間又は60分 ①	⑦	【朝】 短時間又は60分 ⑬	⑮	⑳
	行間休み				
2限	②	⑧	⑭	⑰	㉑
	中間休み	中間休み	中間休み	中間休み	中間休み
3限	③	⑨	⑮	㉒	㉓
	行間休み				
4限	④	⑩	⑯	㉔	㉕
	給 食				
	昼休み		ロング昼休み	昼休み	
	そうじ	そうじ		そうじ	そうじ
5限	⑤	⑪	⑰	㉖	㉗
	行間休み	行間休み	帰りの会(-14:20)	行間休み	帰りの会(-14:20)
6限	⑥	⑫	校内研修	㉘	委員会活動 ／クラブ活動
	帰りの会	帰りの会		帰りの会	
下校	会議・打合せ等				

◇帯時間(黄色)の場所は、朝、昼休み後、夕方が考えられる。